



2020年8月7日

各位

上場会社名 株式会社 テノックス  
 代表者 代表取締役社長 佐藤 雅之  
 (コード番号 1905)  
 問合せ先責任者 経理部長 迫田 一彦  
 (TEL 03-3455-7758)

## 2021年3月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月12日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2021年3月期の業績予想及び配当予想を未定としておりましたが、本日開催の取締役会で、下記の通り決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ●業績予想について

2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	17,700	660	680	420	61.77
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	18,583	1,139	1,179	768	113.09

### 業績予想の説明

2021年3月期の通期連結業績予想について、2020年5月12日の「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」公表時には、新型コロナウイルス感染症の経済活動への影響について、不確定な要素が多く合理的に見積もることが困難であったため未定としておりましたが、今般、受注高及び今後の受注環境等、現時点で入手可能な情報や予測を基に作成した業績予想を開示させていただきます。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念から国内景気の低迷が長引くことが想定される中、工事売上高は前期実績と同程度で推移するものの、商品売上高の減少が予想され、前年同期を若干下回る177億円(前年同期比4.8%減)となる見込みであります。

また、利益につきましては、国内景気が低迷することで受注環境の厳しさが増し、工事利益率の低下を招くものと予想しております。また調査研究費を中心とした一般経費が増加することから、営業利益6億60百万円(前年同期比42.1%減)、経常利益6億80百万円(前年同期比42.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益4億20百万円(前年同期比45.4%減)となる見込みであります。

## ●配当予想について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
前回予想 (2020年5月12日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	11.00 (普通配当11円00銭)	—	22.00 (普通配当12円00銭) (記念配当10円00銭)	33.00 (普通配当23円00銭) (記念配当10円00銭)
当期実績	—				
前期実績 (2020年3月期)	—	16.00	—	17.00	33.00

### 配当予想の説明

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要課題と位置づけ、安定配当の継続を重視しつつ当該期の業績や財政状態に加え、中期的な見通しも勘案して具体的には連結配当性向 30%程度の配当を実施することを基本方針としております。

上記方針に基づき、2021年3月期の連結業績等を勘案し、1株当たり配当予想を、普通配当23円00銭といたしました。また、当社は2020年7月8日会社創立50周年を迎えることができ、その記念配当として1株当たり10円00銭とし、普通配当に加え合計33円00銭にすることといたしました。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上